

【平成 27 年度】

## 統計研修講義計画書

研修課程	統計入門課程 統計利用者向け入門	講義科目	厚生労働統計の見方・使い方	講義時間	1 コマ
講師	岸 泰弘 厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課世帯統計室 国民生活基礎統計専門官				

※1コマ 70分

### 講義のねらい

行政施策を企画・立案して実行していくには、国民に対する説明責任「証拠に基づく政策立案 (evidence-based policy making)」が重要であるが、そうした、施策を立案するには、物事を客観的にみることができる基礎資料が必要であり、それができる統計調査の数値を分析する能力が必要不可欠である。

今回は、単に厚生労働統計を紹介するだけでなく、身近な少子高齢化に視点をあてて、その実態と関連する事項について、様々な数値を紹介することにより統計の有用な見方や使い方への興味を惹起させ、今後、今回の講義により、各都道府県独自の行政施策の指標を作成することも含め、各種統計調査結果を活用して業務に役立てるきっかけになることを企図するものである。

### 指導項目と内容

指導項目	内 容
・ 統計データを見るとき の注意点	数値の性格、用語、比率の意味を理解し、統計を有用に利用するための注意点を解説する。
・ 少子高齢化とは	日本社会の構造を特徴的に表す指標でもあり、本日のメインテーマでもある「少子高齢化」の定義を解説する。
・ 人口動態調査及び統計	} 少子高齢化という視点での統計結果の紹介 実際に、統計を具体的に見ながら、「何が言えるのか」、 「統計結果をどう見るか」、「留意点は何か」等を解説する。
・ 国民生活基礎調査及び統計	
・ 代表的な労働統計	厚生労働統計の労働統計について紹介
・ 厚生労働省HPにおける情報提供	実際に情報を入手するための方法について紹介する。

### 講義形態 指導方法

パワーポイントにより作成した資料を表示し、解説する形態。

### 受講に必要な 基礎知識等

特になし（日本語を理解できれば良い）。